

市町村名	北谷町						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	北谷町電子黒板整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア <small>国際社会、情報社会に対応した教育の推進</small>	
担当部課名	教育部	教育総務課	事業実施 年度	平成 30	~ 平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	町内の4小学校2中学校の普通教室、理科教室、特別支援教室に電子黒板を設置し、動画、書き込み機能等を活用した分かりやすい授業環境を整え、学力の向上を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	○年度	○年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	92,880				92,880	
	B. 執行済額	92,880				92,880	
	うち 交付金充当額	74,000				74,000	
	執行率(%) (B/A)	100.0%				100.0%	
執行状況の説明	・当初の予定通り電子黒板127台を各教室へ整備することができた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	○年度	○年度	○年度	○年度
	電子黒板の整備	目標	127台	-	-	-	-
		実績	127台	-	-	-	-
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H30年度	○年度	○年度	○年度	○年度
	電子黒板の整備	目標	127台	-	-	-	-
		実績	127台	-	-	-	-
		目標					
		実績					

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R1年度	○年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	児童生徒にアンケートを実施 電子黒板を活用した授業がわかりやすかった	目標	80.0%			
		実績	83.2%			
	教員にアンケートを実施 電子黒板の操作における習熟度が上がった	目標	80.0%			
		実績	93.3%			
状況説明	<p>【R1年度】 ・各学年・各教科等の授業において、電子黒板とデジタル教科書を併用した課題提示・説明・児童生徒の発表等を行ったり、動画教材の視聴、ノート及び資料の拡大提示などに活用している。 ・教員のICT機器の習熟度、児童生徒が思っている授業の分かりやすさの調査結果より、電子黒板を活用した授業展開が日常的であり、効果的であることがうかがえる。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)		【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R1年度】 ・電子黒板の活用により、視覚的・聴覚的な学習理解が図られ、授業がわかりやすくなったと思う児童が約83.2%いる。 ・電子黒板の効果的な活用を推進するためには、デジタル教科書の整備が不十分である。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>		<p>【R1年度】 ・今後も、電子黒板の活用を町学力向上推進取組事項に位置づけ、児童生徒が学び合う授業展開での電子黒板の活用を推進していく。 ・令和2年度から小学校において新学習指導要領の完全実施および教科書改訂に合わせ、デジタル教科書の整備状況の充実を図る必要がある。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
<p>【R2年度】 ・主体的・対話的で深い学びのある授業づくりに向けて、児童生徒が協働し学び合う学習活動が重要となる。そこで、諸研修会や授業観察での説明・助言を通して、電子黒板を使って発表したり、話し合ったりする場面のある授業づくりを推進していく。 ・各小学校に、令和2年度から国語、社会、算数、理科、外国語、音楽のデジタル教科書を共通購入および説明会を行い、電子黒板の効果的な活用をさらに推進していく。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>						